

芸術の森地区町内会連合会

広報

やませみ

第16号

平成13年1月1日

発行 芸術の森地区
町内会連合会
印刷 (株)辻孔版社

母なる川、真駒内川が源を発する空沼岳頂上より蝦夷富士を望む

二十一世紀を迎えて



札幌市南区長 東 健二郎

新年明けましておめでとうございます。

芸術の森地区町内会連合会の皆様の、住みよい街づくりへのご尽力には、心から敬意を表すものであります。

真駒内川と精進川の清流や広大な緑に恵まれた芸術の森地区

は、厚別の滝を中心とする滝野すずらん丘陵公園や真駒内スキー場などを擁するレクリエーションの拠点であるとともに、札幌市内外に誇る札幌芸術の森と

そこで毎年開催されるP.M.F.国際音楽祭や町内会連合会主催の芸術の森音楽祭、さらには市立高等専門学校、石山緑地と、芸術文化の面でも札幌市民みんな

芸術の森地区町内会連合会
会長 伊藤 正二十一世紀のスタートに
当たって期待するもの

新年明けましておめでとうございます。

芸術の森地区の皆様方がお元気で、明るく、楽しい正月を迎えることを心からお喜び申し上げます。

昨年、二千年の夜明けはコンピューターの誤作動でパニックが起るとの不安から世界中が大騒ぎとなり、会社に泊まり込み新年を迎えた方がいましたが、あの騒ぎは一体何だったのか。科学技術が高度に発達した現代

社会では明日、何が起きるかわざいません。

あります。「自然」・「文化」・「福祉」を三本の柱とする「人と自然に優しい文化推進の里」の創造に向けて、総ての力を結集して活動して参りたいと思います。皆様方が既にご存知のように二十一世紀は、本当の意味での地方の時代になると言われています。これからは、国や道の主導から離れて、自分たちの地域は、自分たちの頭と手と足で築き上げて行く、自分たちの時代にしなければなりません。その為には、地域を代表する最大の自治組織である、町内会連合会の役割と責任も大きくなっています。これに対応して、●町内会連合会の政策決定力を高めることと●住民の積極的な参加を高めることとの二点が大きな課題であると確信し、今後の連合町内会の運営に最善を尽くして参る所存であります。

最後に二十一世紀の夜明けが皆様にとって最良の年であることを祈念いたします。

的一大拠点であります。さて、本市の長期総合計画では都市としての個性と風格を高め魅力的な世界都市となることを目指して、市民・企業・行政のパートナーシップによる街づくりを開拓することとしております。

二十一世紀の芸術の森地区の目標は、誇りうる個性的な魅力を生かして、少子・高齢社会における生活の質の向上を図っていくことだと考えております。

皆様と区役所がパートナーとして一緒に様々な課題に着実に取り組んで行かなければなりません。皆様の力強いご支援をお願いして、新しい世紀の最初の年の活動して参りたいと思います。新年のごあいさつをいたします。

芸森連町 平成12年度の主な行事及び行事予定

平成12.4.1~平成13.3.31

4月6日(木)	芸森地区交通安全街頭啓発	10:30 芸森会館前
30日(日)	芸術の森連町昭和12年度総会及び懇親会	16:00 芸森会館
5月9日(火)	南区芸術の森地区懇親会	17:00 芸森会館
10日(水)	芸森地区社会福祉協議会定期総会	18:30 芸森会館
13日(土)	芸術の森東地区スポーツ振興会定期総会	18:00 芸森会館
29日(月)	芸森地区常盤児童会館総会	16:00 駒岡保養センター
6月8日(木)	芸森地区交通安全街頭啓発	10:30 芸森会館前
	芸森地区交通安全運動推進委員会総会	18:30 芸森会館
9日(金)	芸森地区常盤体育振興会総会	13:30 常盤一区会館
18日(日)	芸森地区福祉推進研究会	10:00 芸森会館
25日(日)	空沼清掃登山(常盤体育振興会主催)	9:00 空沼登山口集合
28日(水)	真駒内川改修対策特別委員会	14:00 芸森会館
30日(金)	広報「やませみ」第15号発行	
7月2日(日)	芸森地区ソフトボール大会	8:30
14日(金)	芸森地区交通安全街頭啓発	10:00 芸森会館前
15日(土)～16日(日)	南区ハミングフェスタ(2日間)	藻南公園
28日(金)	第1回「区役所と連絡所のこれからを語る会」	18:30 南区民センター
8月22日(火)	第1回「真駒内川を考える会」	18:30 芸森会館
27日(日)	芸森地区大運動会	8:30 石山東小グラウンド
31日(木)	芸森地区女性部主催施設見学会	10:00～ 芸森会館前集合
9月5日(火)	広報「やませみ」お知らせ特集号発行	18:30 南区民センター
13日(木)	第2回「区役所と連絡所のこれからを語る会」	川沿グリーンホテル前
21日(木)	南区総ぐるみ運動街頭啓発(250名参加)	13:00 芸森会館
26日(火)	第2回「真駒内川を考える会」	15:40～ 芸森会館前出発
	*真駒内川踏査(真駒内一号橋～常盤一号橋)	
10月1日(日)	国勢調査実施	10:00～
5日(木)	芸森地区「市民見学会」	芸森会館
11月2日(木)～3日(金)	第6回芸森地区文化祭(2日間)	13:30 芸森会館
8日(木)	芸森女性部主催「ジャンボ秀克独演会」	18:30 南区民センター
15日(木)	第3回「区役所と連絡所のこれからを語る会」	18:30 芸森会館
16日(木)	第3回「真駒内川を考える会」	13:30
29日(木)	平成12年度南区福祉のまち推進センター活動交歓会 *活動発表・芸森地区石山東町内会福祉推進委員会	14:30 芸森アートホール
12月3日(日)	第5回芸森地区音楽祭	11:00 川沿グリーンホテル前
6日(木)	南区総ぐるみ運動ファイナル啓発(260人参加)	常盤児童会館
10日(日)	芸森地区常盤児童会館8周年もちつき大会	定山渓第一ホテル
16日(土)	芸森連町第6回理事会及び忘年会	
平成13年(2001年)		
1月1日(月)	広報「やませみ」16号発行	
予定	1月2日(火)～3月31日(土)	
1月5日(金)	南区新年交礼会	13:00 川沿グリーンホテル
	消防石山分団出初式	16:00 石山会館
13日(土)	芸森連町新年会	13:00 芸森会館
2月2日(金)	芸森連町第7回理事会(12年度最後)	
3月4日(日)	第6回石山東雪中運動会(第1日曜日) 第10回常盤スノーフェスティバル(第1日曜日予定)	芸術の森東地区スポーツ振興会主催 芸術の森常盤体育振興会主催



芸森地区ソフトボール大会



芸森地区大運動会



芸森地区児童会館もちつき大会

芸術の森連合町内会 女性部・文化部・保健部合同講演会

『大いに笑って健康になろう』

11月7日(水)に、テレビ、ラジオなどに出演されているジャンボ秀克さんをお迎えして講演会を行いました。

ジャンボさんは、アートパーク町内会に、住んでいらっしゃいますので、より身近にお話しをお聞きすることが出来ました。

CDの録音ドラマ出演の裏話など、ジャンボさんの人柄にふれながらの楽しいお話しで、盛り上がりのうちに終ることが出来ました。

朝からの雪、という天候にもか

かわらず、たくさんの方々と楽しい時間を過ごすことが出来た事を、感謝いたします。ありがとうございます。

保健部長 藤島記



8月31日(木)総勢41名(伊藤会長、吉田所長にも参加していました)百合が原公園では、職員の方から、土の事、花の話、公園整備のご苦労の事など、いろいろ説明していただき、有意義に過ごさせてもらいました。時間が足りないくらいでした。

楽しい屋食をしません。次的目的地、気象台へ向いました。気象台では二班に分かれて、ここでも職員の方に親切、丁寧な説明を受けました。個人的な質問して楽しい一時を過ごしました。最後に全員で写真を撮りました。各町内女性

8月31日(木)総勢41名(伊藤会長、吉田所長にも参加していました)百合が原公園では、職員の方から、土の事、花の話、公園整備のご苦労の事など、いろいろ説明していただき、有意義に過ごさせてもらいました。時間が足りないくらいでした。

楽しい屋食をしません。次的目的地、気象台へ向いました。気象台では二班に分かれて、ここでも職員の方に親切、丁寧な説明を受けました。個人的な質問して楽しい一時を過ごしました。最後に全員で写真を撮りました。各町内女性



市民見学会
部長、吉田所長にお世話をありがとうございました。
女性部文化部長 吉澤記

市民見学会

あの町 この町

冬の交通事故防止を呼びかけ
『特別街頭ファイナル啓発』
(南区)
交通安全
全推進
委員会
主催
が十二
月八日
川沿ぎ
リーン
ホテル
前の国
道で行
われた。



私達の町内会は、常盤地区と滝野地区の中間の『道々真駒内御料線』沿いに居住する、わずかに十六戸の集落です。この町内に、二年前の平成十一年十月、念願の新会館を落成する事が出来ました。助成金等の手続きの為お世話になつた南区役所・地域振興課の担当の方は、「この小世帯でこんな立派な集会所をお持ちなのは札幌中どこにも無い」と驚かれていました。私達建設委員も、計画を始めた頃はどの程度のものを作れるか不安でしたが、建設に最低限必要な負担額を会員に図ったところ、全会一致で賛成して頂きました。旧会館は開拓当初の四十五年前、わずかな資材に近くの立木も利用して会員全員の手作りで建てた思い出深い建物でしたが、近年老朽がひどく、冬の大雪の時等はいつも倒れるかと心配で、会館の新築を全員が待ち望んでいた訳です。しかし、十六戸の会員だけで立てられた訳ではあ

同運動は降雪、吹雪時の視界不良や路面凍結等により道路悪化によるスリップ事故等冬型の交通事故防止を呼びかけるのが狙い。当日、市内の気温は氷点下七度。寒空の下、区内の交通安全全運動推進団体や警察官、南区交通安全母の会など関係団体が加わり参加者約三百六十人が国道沿いに立ち、「スピードダウン」「交通安全は家庭から」などと書かれた手旗のぼり、横断幕を持って無事故を訴えた。

『先人の苦労と 豊かな自然に感謝して』

真駒内三団町内会 副会長

今田 隆男

の村造りが始まりました。文字通りの荒地開拓、当初は穀物生産がやっとでしたが徐々に酪農畜産も手がけて行きました。昭和三十八年には『真駒内開拓蔬菜生産組合』を立ち上げ、中央卸市場に野菜を出荷、札幌市の台所の一翼を担うようになりました。その間にも電力の導入や有線電話の敷設事業等と、生活向上の

ありました。昭和三十八年には『真駒内開拓蔬菜生産組合』を立ち上げ、中央卸市場に野菜を出荷、札幌市の台所の一翼を担うようになりました。その間にも電力の導入や有線電話の敷設事業等と、生活向上の

「冬の交通安全市民総ぐるみ運動」実施 平成十二年十二月一日(金)～十二月十日(日)

『市民見学会』実施報告

谷地工場へ到着後、職員からデオによる主要な業務内容の説明を受けてから工場内を見学しました。

昭和五十七年三月設置以来昼夜別なく私達利用者のために裏方として、車両の点検整備に従事する約八十名の職員の労苦を肌で感じ感謝の念で工場をあとにした。

次いで『アサヒビール北海道工場』見学、昼食後最後の見学地道立総合体育センター『きたえーる』到着。ここはスポーツに関する諸設備が備えられており多くの市民の利用が期待されております。十五時帰着解散。



昨年十月五日例年通り『市民見学会』を実施しました。当日は好天に恵まれ、参加者二十四名は定刻連絡所前を出発、

最初の見学先『交通局高速電車東地、大

て鍋物や焼肉に舌づつみ、ビンゴゲームやトランプに興じる様は一つの大家族の様です。ここは隣人との関係も大切にしたい若い夫婦がいます。又、お年寄りを労はる、素直で心やさしく、たくましい子供たちがいます。そして開拓魂も健在です。会館建設時、設計見直しの度にふくれ上がる見積りに、規模の縮小も検討しました時、「後々悔いの残らない立派な物を建てる」と叱咤激励して頂いたのは開拓者として入植して今も現役で野菜作りに励んでいる、伊丹徳治氏と山田令一氏の町内会相談役のお二人でした。

私は、豊かな自然環境で残された財産と魂を大切に引きついで、夢と希望に満ちた子供たちと、生きがいのある老後を送れる里づくりに、今後とも努力してゆき度いと思っています。御支援をお願い致します。

北海道産業貢献賞受賞
藤沢 昭氏
常盤二区町内会長



昭和三十七年以来
職業訓練事業の振興
若年技

能者の指導育成等の功績に対し、十二月八日京王プラザホテル札幌に於いて北海道知事より、北海道産業貢献賞(認定職業訓練功労者)を贈呈された。

+++++
瀬川指揮員
館岡指揮員
氏が受賞
「平成十二年札幌市交通安全運動推進委員会
会長表彰
館岡武治氏、瀬川政広
氏が受賞

両氏は芸術の森地区交通安全運動推進委員会の指導員として、年間五十日以上通学児童の交通安全指導吏に南区交通安全運動推進委員会が主催する各種行事に参加され増加の一途をたどる交通事故を予防すべく尽力されその功績に対し十一月二十二日に受賞されました。



瀬川指揮員



館岡指揮員

ご注意！痴漢出没　ー見かけたらすぐ110番！ー

この夏から、登下校中の女子生徒に対し、突然前をあけて見せるなど変態的な行動で驚かしたり、鞄をつかんで恐怖を与えるなど、痴漢としかいいようのない初老の男が出没しています。遭遇した子どもたちは、大きな精神的ショックを受けています。場所は石山東と常盤をつなぐ人道橋付近(常盤1条1丁目)、など通学路数カ所にわたっています。この男が、地元の住民でないことを願いながら、安全に通学できる環境の保全にご協力をお願いします。

芸術の森地区青少年育成委員会

南区ハミングフェスタ2000 好天の中盛況裡に終わる!



藻南公園を会場に南区の市民手づくりの「みなみハミングフェスタ2000」が平成12年7月15日(土)16日(日)の両日にわたり開催された。

快晴にめぐまれた夏祭りは2日間で入場者39,000人の大台を記録しました。出店も例年通り女性団体連絡協議会(女連協)が担当し、芸森地区女性部も昨年と同じくフライドポテト販売に活躍しました。サンブライトの酒井正人氏が自主的にボテト揚げに協力頂き、不なれな女性部を喜ばせました。感謝!



第5回 芸術の森地区音楽祭 2000.12.3(日)

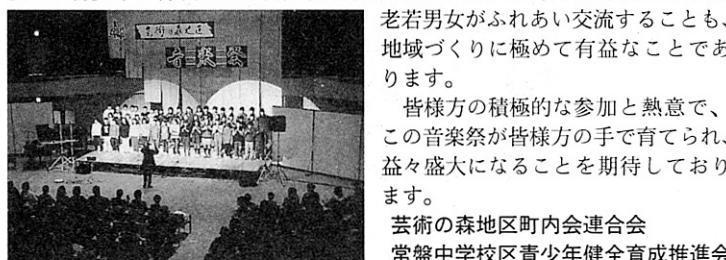
聴衆500人、大成功裡に終了!

『芸術の森地区音楽祭』も第5回をむかえました。すべて『自分達の手で』を合言葉に準備を進めて参りましたが、多くの人々の参加と協力で本年もまた盛大に開催する事が出来ました。

芸術文化活動を地域に根付かせることは地域づくりの第一歩、健康で心の優しい青少年の育成には芸術文化活動は大切なものです。更に音楽を通して老若男女がふれあい交流することも、地域づくりに極めて有益なことがあります。

皆様方の積極的な参加と熱意で、この音楽祭が皆様方の手で育てられ、益々盛大になることを期待しております。

芸術の森地区町内会連合会
常盤中学校区青少年健全育成推進会



去る八月三日(火)、第一回真駒内川対策協議会『真駒内川を考える会』が開かれました。予定した協議会委員(住民団体、市民団体より三名)の参加のもと、事務局が提案した規約が承認され、会長に伊藤芸森連町会長、会長代理に高橋アートパーク町内会長が選ばれ『真駒内川を考える会』の設立となりました。

その後協議に入り、今迄の経緯・運営方法・真駒内川整備に向けた基本理念を決め、今後のスケジュール等を話し合いました。

聴衆500人、大成功裡に終了!

は九月二六日(火)二時より、用意された地図、写真などを参考しながら時折強い雨の降る中を真駒内一号橋から常盤一号橋迄約二、七kmの改修区間を、一般参加者も含めて踏査しました。踏査の重要なポイントは既改修区間の魚道・帶工・落差工、岩盤河床、護岸施工、河川横断工作物、右岸河畔林と湿地帯の状況、瀬の流速、そして昭和五六年災害の箇所などでした。

見学後の話し合いでは今後の

計画流量を目的として河川の重要度や経済効果などで総合的に考えて決定する。

真駒内川の延伸区間は一級河川の都市河川なので通常表C級に位置付けられる。河川周辺は人口が集中しており資産価値(住宅等)が高いため、一〇〇年に一度の大水に耐えることの出来る恒久的な安全度が必要と考えられる。

③ 河川計画の考え方。

洪水防止を目的として河川の計画流量を決める場合、一般に過古の洪水だけではなく河川の都市河川なので通常表C級に位置付けられる。河川周辺は人口が集中しており資産価値(住宅等)が高いため、一〇〇年に一度の大水に耐えることの出来る恒久的な安全度が必要と

考えられる。

真駒内川を考える会が発足!

討論に向け、感想や意見が活発に出され有意義な一日でした。

二四〇m/Sでした)。なお『真駒内川を考える会』は『ニュースレター』を毎月発行し住民の皆様にお知らせして居ります。又真駒内川つくりに向けたご意見・ご意見・ご意見

にあります。

■ 第五回芸術の森地区音楽祭が開催された。

出演団体はジャズのグループが増え十一団体となりた。

参加希望団体が増え

互いに競い合い、レベルがアップされることで

は極めて嬉しいことで

ある。



ニュースレター1号~3号

第三回 真駒内川対策協議会『真駒内川を考える会』開催

一月一六日(木)八時より芸森会館で第三回『真駒内川を考える会』が開催されました。会議は前回迄のまとめに始まり、今回の議題として資料をもとに計画流量の決め方の説明

① 資料をもとに計画流量の決

め方の説明

② 真駒内川の流域図により昭和五六年洪水時の雨量、流量、流下能力、冠水状況等について確認し河川計画についての討議

③ 河川計画の考え方。

六月二五日午前九時、登山口に集まつた四〇名は、一路万計沼へと出発。十一時過ぎに全員沼の辺りへ辿りついた。ゴミ拾いに汗をながし、終了後、例によって体育振興会役員のお骨折りによってジンギスカンを食べることができ、感謝と感激でいっぱい。

沼と山荘でひと休み、山荘では札幌山岳会のメンバーからいろいろなお話を聞く機会を得た。心なしか若干傾きかけた山荘、この修理には数百万円必要とか、下山途中によーしカンパに協力しよう、と心強い話も聞くことができた。

▲ 明年からは、幕あいに地域の人の昔話や歴史を交えた楽しいトークを入れたり、子どもが地域の思いを語ったり、さらには開催日を〇月第〇日曜日と固定することも一案である。

多くの方の意見を待っている。

▲ 鑑賞した多くの人から「素晴らしい音楽祭で驚いた」とか「一年一年内容が良くなつて楽しいですね」など多くの評価が寄せられた。苦勞五年間、苦労の甲斐があったと、感無量である。

▲ 照明と音響を担当した親父の会の石黒さんは、「音と光りは

何處にもひけを取らないものに

する」と力強く語ってくれた。

▲ 出演者も舞台も揃ってきたが

百歳まででも、音と光を担当

していたたくつもりである。

▲ 出演者も舞台も揃ってきたが

気になるのは観衆の態度である

発表中の立ち歩きや私語はいた

だけない。

わが子の発表だけで席を立つ

のもどんなものだろう、交流と

触れ合い、青少年の健全育成が

目的的会なので最後の中学生の

素晴らしい演奏も、もっと多く

の人に鑑賞して欲しかった。

▲ 小学生を最後まで留めるのは

酷い発表だけで帰るのも仕方がないとの意見もあるが、せめて

同じ小学生の発表を鑑賞し、盛

大な、拍手を送り交歓して欲し

かった。